

# 滋賀県議会だより

## 会派別議員数

|                |     |
|----------------|-----|
| 自由民主党・真政会      | 20人 |
| 民主党・県民ネットワーク   | 17人 |
| 対話の会・びわこねっと    | 4人  |
| 日本共産党滋賀県議会議員団  | 3人  |
| 公明党            | 2人  |
| 無所属            | 1人  |
| 定数             | 47人 |
| 現員             | 47人 |
| (平成23年3月14日現在) |     |

No.57 編集・発行／滋賀県議会 〒520-8577 大津市京町4-1-1 TEL 077-528-4094



(社)びわこビジターズビューロー

琵琶湖疎水の桜 (大津市)

## 2月定例会の概要

2月15日から3月14日までの28日間の会期で開かれた2月定例会では、「平成23年度における滋賀県議会議員の議員報酬等の特例に関する条例案」をはじめとする議員提出議案9件と、「平成23年度滋賀県一般会計予算」をはじめとする知事提出議案90件とが上程されました。これらを審議した結果、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

また、各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審査および調査を行いました。特に新年度予算については、委員45人で構成する予算特別委員会(委員長:世古正議員、副委員長:西沢桂一議員)が設置され、3日間にわたり16人の委員が県当局に対し質疑を行い、さらに分科会調査を2日間実施した上で、可決しました。

### ●「平成23年東北地方太平洋沖地震災害に関する決議」を全会一致で可決

閉会日の冒頭、東北地方太平洋沖地震により亡くなられた方々に黙とうを捧げました。

また、「平成23年東北地方太平洋沖地震災害に関する決議」を全会一致で可決しました。この決議では、この地震により亡くなられた方々とその御遺族に対し、深く哀悼の意を表するとともに、政府には、被災地に対する復旧のため財政支援などあらゆる支援措置を講じることや、原子力関連施設の地震や津波への対策の再検討など今後の防災対策にも万全を期すことを求めています。

## 2月定例会における 質疑・質問から

### 平成23年度予算

**問** 財政厳しい折、県と市町のお互いが協力し合っ  
て滋賀県の発展のために尽くすことは当然であり、知事自身も対話の姿勢を強くし、説明ではなく話し合いを重  
ねるのが良い結果を生むと考  
えます。

**答** 本来であれば県庁の事業をスリム化し、市町に財源や権限を今以上に移譲し、より現場に近いところで事業が実施されることのほうが効果がある  
と考えますが、知事はどのよ  
うな見解をお持ちか伺います。

**問** 地方分権・地域主権改  
革における県と市町との  
役割分担は重要であり、特に  
住民に最も身近な市町に事務  
事業を優先的に配分し、市町が  
自主的かつ総合的に行政を展  
開できるようにしてきました。

**答** 現在策定中の次期行財政改  
革方針においても、これからの  
自治の仕組みづくりを進める  
取組として、県民等との協  
働の更なる推進と併せて、県  
と市町の施策・事業の在り方  
の見直しを行うこととしてい  
ます。

自治創造会議の場などで市  
町長の合意を得ながらこのよ  
うな取組を進め、地域の課題  
を解決するために市町が担う  
ほうが望ましい権限とそれに  
必要な財源について更に移譲  
を進め、同時に県としてはス  
リム化をしながら県全体とし  
て活気に満ちた地域社会を  
実現していきたいと考えていま  
す。

### 予算案では、新たな基 本構想案に示された8つ の重点テーマに添った事業が 各部署で数多く提案されまし た。重点化特別枠で予算計上 された事業費は約7億1千万 円、うち一般財源が約6億 円、実に約90%を占めます。 嘉田県政の独自性を発揮す るために単独事業が増えるこ とはやむを得ませんが、義務 的経費が増え、弾力性を欠く 予算の中で、知事の裁量を発 揮する部分として、その成果 が問われます。このことに対 する知事の意欲と決意を伺い ます。

**問** 重点テーマに係る知事と部  
局長との協議が行われ、事業  
の取捨選択がされていますが、  
知事はどのように判断したの  
か伺います。

**答** 予算編成に当たっては、  
重点テーマに基づき本県  
の実情に即した具体的な施策  
を埋め込んだところ。その  
の着実な実行を通じて、県民  
の不安を解消し、未来への安  
心につなげ、施策の成果が確  
実に生きる予算となるよう、  
全力を尽くします。重点テー  
マに係る事業の判断について  
は、県民目線から見た現状と  
課題、到達目標や県の役割を  
確認し、必要性と優先度を総  
合的に検討しました。

### 造林公社問題

**問** 造林公社に対する巨額  
の債権放棄によって、県  
民に多大な負担をお願いしな  
ければならないことについて、  
どのように説明し、理解を得

ようと思っているのか。また、  
今後、公社が持続的な経営を続  
けていくために不可欠な伐採  
収益の確保について、どのよ  
うに考えているのか伺います。

**答** 県民に多大な負担をお  
願いしなければならぬ  
ことについて、深くおわびす  
るとともに、今、債務処理に  
踏み切らなければ、今後ま  
す県民負担が増大するとの  
思いから、決断したこと。御  
理解をいただきたいと思っ  
ています。

今後は、国に対して強く支  
援要請を行うとともに、県と  
しても早急に将来ビジョンを  
取りまとめ、県民にはつきり  
と見える形で示し、説明責任  
を果たしていきたいと考えて  
います。

また、確実な伐採収益の確  
保のためには、品質や量の面  
で、需要面のニーズに即した  
木材を供給できるような生産  
流通体制の整備を急ぐ必要が  
あり、**公社材**についてもそう  
した連携を図ることによって、  
県産木材の利用拡大を図って  
いきたいと考えています。

### 子育て支援

**問** 11月定例会で、子育て  
家庭が孤立しないよう地域  
全体で支える取組についての  
質問に対し、知事は「保育  
に悩む0歳児を持つ親を対象  
に、無償の一時預かり利用券  
を配布し、保育支援の充実を  
図ることなども検討してい  
る。」と答弁されました。

その具体的な形として、「ほ  
っと安心子育て支援事業」を  
提案されたと思いますが、市  
町の中には「待機児童がいる  
中で一時預かりだけを受け入  
れられない」、「保育士不足  
の解消が先であり、優先順位

用語解説 ※1 「公社材」…造林公社営林地から生産される木材